

# 第35回埼玉県都市対抗テニス大会結果

さいたま市は昨年の雪辱を果たし優勝しました！栃木全国大会に出場します！！



第35回埼玉県都市対抗テニス大会が1月23日(土)、24日(日)大宮第二公園テニスコートで開催されました。コロナ禍無観客且つ曇り混じりの悪天候下、さいたま市テニスチームは3年連続となった新座市との決勝戦で昨年の雪辱を果たし2年振りに優勝しました！

## 【試合結果】

○1回戦、さいたま市はふじみ野市の棄権により不戦勝となりました。

○2回戦は、東部地区第二代表の越谷市に5-0で勝利しました。

思わぬ不戦勝で、氷雨の中の初戦となり心配しましたが、各選手とも熱いプレーで盛り上げてくれました。一般男女とも、越谷市の大学生ペアと接戦になりましたが、山本・清水ペア、金井・星野ペアともしっかり勝ち切ってくれました。この勝利に勢いを得て、続くベテランダブルス3試合も接戦を制しシングルスを待たずに翌日の準決勝進出を決めました。

○2日目の準決勝は、東部地区第一代表の春日部市との対戦となりましたが4-1で決勝進出を決めました。

準決勝は、綿貫三兄弟の長男裕介選手を擁し勝ち上がってきた春日部市との対戦となりました。こちらダブルスのスペシャリスト古城さんと清水君のペアで対抗しましたが、流石に全日本チャンピオン、3-8で落としましたがとても内容の濃い対戦でした。しかし、その他のダブルス4試合は粘る相手を振り切り、シングルの決着を待たず3年連続の決勝進出を決めました。女子シングルの大河原さんの勝利と、男子シングルの清水君と綿貫選手の対戦も最後まで見たかった... 余力を残していざ昨年のリベンジマッチに臨みます！

○決勝戦は3年連続で新座市との対戦。4-1で昨年の雪辱を果たし優勝する事ができました！

決勝戦は、昨年リベンジを喫した新座市との3年連続の対決となりました。今年はこちらの番と、各選手とも滾る思いを最初からぶつけていきました。

まず一般男子の古城・清水ペア、女子の金井・星野ペアが着実に勝利しベテラン勢3試合に流れをもたらします。

ベテランは、何れも最後までどちらに転ぶか分からない展開で応援する我々もハラハラドキドキの連続です。男子45の石田大地・洋平の兄弟ペアこそタイブレーク4-1から逆転されましたが、女子45の小野田・今岡ペア、男子55の塩澤・石川ペアが見事勝利し、4-1で2年振りの優勝を果たす事ができました。

## ○総括

選手及び役員の皆様、コロナ禍の悪天候下、2日間本当にお疲れ様でした。お蔭様で昨年の雪辱を果たし2年振りに県大会を優勝する事ができました。

一般男子の古城さん、山本さん、清水君は昨年と同じメンバー。女子は金井さん、大河原さんに星野さんが新たに加わりました。今回、ダブルス必勝態勢で臨んだ金井・星野ペアは危なげなく全勝で終えてくれました。

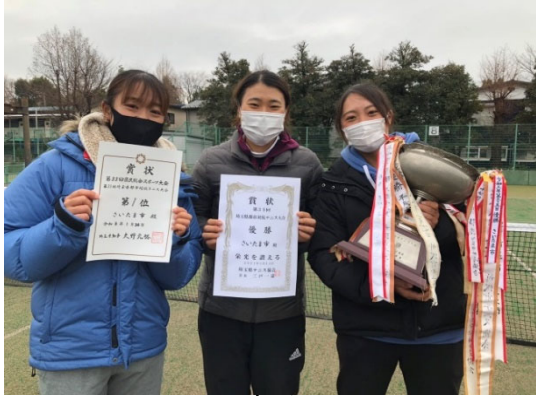
3市ともダブルス決着となり、大河原さんのシングルスが全て途中打ち切りとなったのは残念でした。

男子45の石田洋平選手と新座の木村選手とのライバル対決は舞台をベテランに移して続きます。今回は悔しい逆転負けでしたが次回はお返ししましょう！男子55の塩澤・石川ペアは、昨年タイブレークで敗れた相手に今回はしっかりリベンジしました。女子45の小野田・今岡ペアは昨年からの唯一7戦全勝で、正にポイントゲッターの活躍でした。

3対戦ともダブルス決着でしたが、際どい試合の連続で、これを勝ち切った事に一年間のチームの成長を感じました。

また、南部予選でご協力いただいた浦田さん、河田さん、梅國さん、一山君にも改めてお礼申し上げます。昨年の三重大会は中止となりましたが、コロナの鎮静化を願いつつ7月の栃木大会が開催されることを想定して鹿児島大会での3位入賞の再現を目指し準備を進めますので、引き続き応援よろしくお願ひ致します。

# 選手紹介



星野遥香 一般女子  
金井綾香  
大河原悠



古城泰裕 一般男子  
山本翔太  
清水盾伎



ベテラン男子1部  
石田大地 石田洋平



ベテラン女子  
今岡貴子 小野田愛子



ベテラン男子2部  
石川英明 塩澤正樹



役員  
富永 小林 関根 清水